

HF2経緯台仕様

仕様・外観は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

機種名	HF2経緯台
架台タイプ	経緯台
上下左右動	上下左右フリーストップ、固さ調整機構付
搭載重量	13kg
重さ	約3.4kg(三脚を含まず)
付属品	六角レンチ4H(4mm)×1本

- SXG-HAL130三脚(別売)、SXG-AL130三脚(別売)、SXG-P85DX(別売)、SXGハーフピラー(別売)に取付け可能です。
- 旧製品SX-HAL130三脚(*)、SX-HAL110三脚(*)、SXハーフピラー(*)、SXハーフピラー2(*)に取付け可能です。

(*)：販売終了

オプション部品(例) 寸法図・取付け図

仕様・外観は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

HF汎用プレート



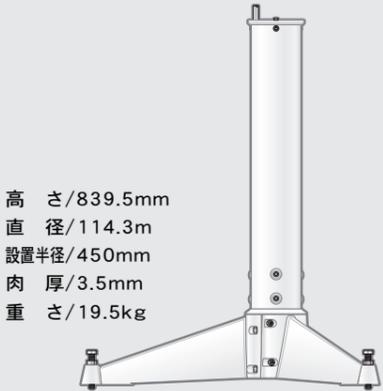
取付け可能幅/251mm
BT81S-A、BT-ED70S-A、ARKシリーズ等の取付けが可能。

SXG-HAL130三脚



大型六角形アルミ2段伸縮式(ワンタッチ式)
長さ/807mm↔1299mm
高さ(地上高)/730mm↔1156mm
設置半径/460mm↔706mm
重さ/5.5kg

ピラー脚SXG-P85DX

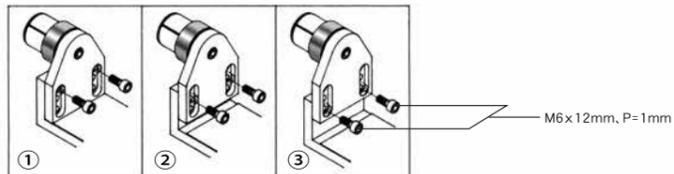
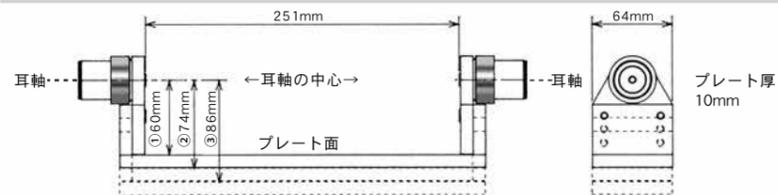


高さ/839.5mm
直径/114.3mm
設置半径/450mm
肉厚/3.5mm
重さ/19.5kg

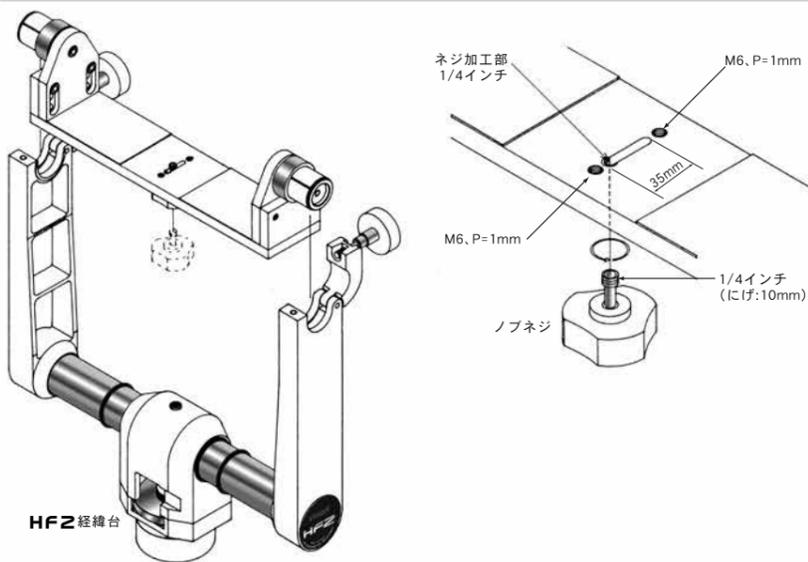
※ピラー脚SXG-P85DXとHF2経緯台の組合せでのご使用は機材の転倒にご注意ください。

※寸法などの数値は設計値です。

HF汎用プレート概略寸法図



HF汎用プレート取付け図



製品についてのお問い合わせについて

弊社ホームページのお問い合わせメールフォームにて受け付けております。

<http://www.vixen.co.jp/>

またお電話によるお問い合わせも受け付けております。

カスタマーサポートセンター
電話番号：04-2969-0222(カスタマーサポートセンター専用番号)
受付時間：9:00~12:00、13:00~17:30
(土・日・祝日、夏季休業・年末年始休業など弊社休業日を除く)

※上記電話は都合によりビクセン代表電話に転送されることもあります。
※お電話によるお問い合わせは、時間帯によってつながりにくい場合もございます。
お客様のご質問にスムーズに回答させていただくためにも、上記のお問い合わせフォームのご利用をお薦めいたします。

Vixen®

HF2 経緯台 取扱説明書

このたびは、ビクセン「HF2 経緯台」シリーズをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ※ この説明書は「HF2 経緯台」シリーズ共通の説明書です。お買い求めいただいた機種によっては、関係しない説明も掲載されていますので、ご了承ください。
- ※ 使用する機器の説明書がある場合は、あわせてお読みください。

ご使用になる前にこの説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

- お読みになった後は、この説明書を製品のそばなどいつもお手元において、ご使用ください。
- この説明書では、使用者や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。内容をよくご理解の上、製品をご使用ください。

警告

太陽をのぞてはいけません。失明の危険があります。

接続した望遠鏡、対空双眼鏡、接眼レンズなどで太陽を絶対に見てはいけません。失明の危険があります。

注意

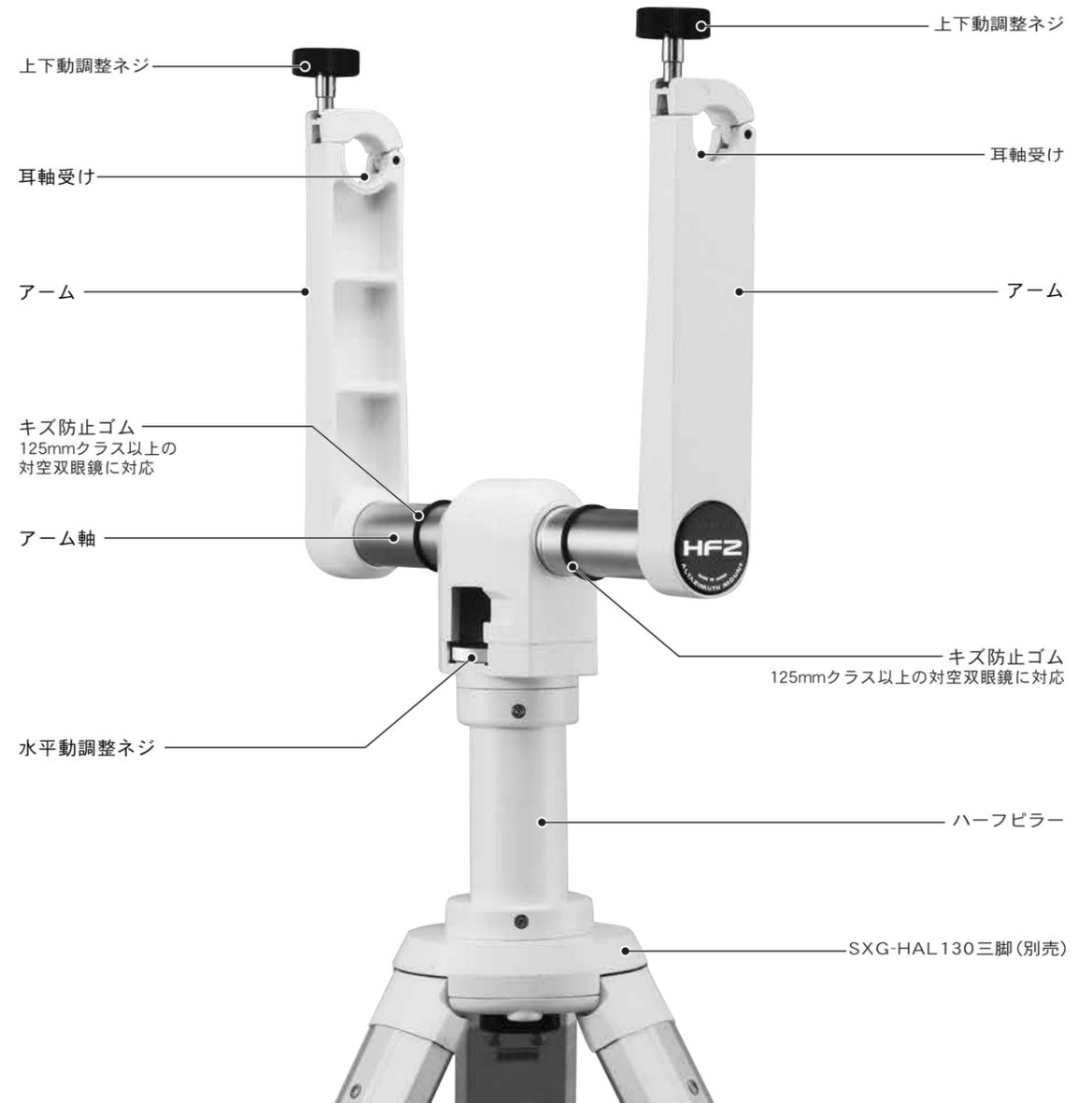
- HF2経緯台が動作中は、操作する部分を除き経緯台本体に触れないようにしてください。手をはさむなどケガの原因になる場合があります。
- レンズキャップを外したまま、屋間に製品を放置しないでください。望遠鏡やファインダーなどのレンズにより、火災発生の原因となる場合があります。
- 移動中や歩行中に製品を使用しないでください。衝突や転倒など、ケガの原因となる場合があります。
- キャップ、乾燥剤、包装用ポリ袋などを、お子様が誤って飲みこむことのないようにしてください。

お手入れ・保管について

- ・炎天下の自動車の中やヒーターなど高温の発熱体の前に製品を放置しないでください。
- ・本体を清掃する際に、シンナーなど有機溶剤を使用しないでください。
- ・製品に、雨、水滴、泥、砂などがつかないようにしてください。
- ・レンズにほこりやゴミがついた場合は、市販のカメラ用ブローアなどで吹き飛ばしてください。
- ・レンズ表面は手で触れないようにしてください。指紋などでレンズが汚れた場合は、カメラレンズと同様の手順で清掃します。(カメラ用ブローア等でホコリを吹き飛ばし、市販のレンズクリーニングペーパーを使い軽く拭きとってください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。)
- ・保管する際は直射日光を避け、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。

各部名称

仕様・外観は改良のため、予告なく変更する場合がございます。



組立て方

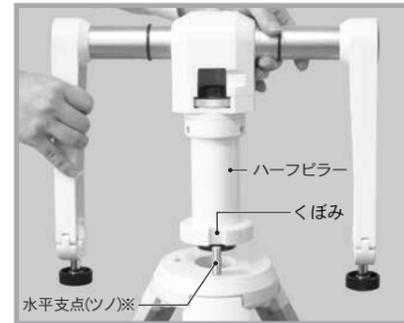
三脚(別売)との接続



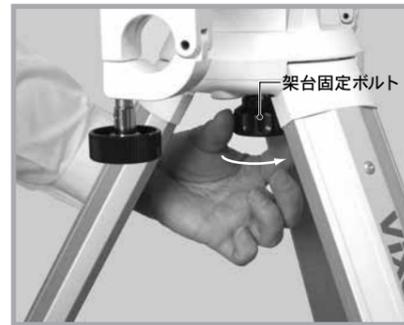
① 水平で安定した観測場所を選んで設置してください。必要に応じて三脚の長さを調整してください。高さ調整ネジをゆるめると長さが調整できます。調整後はしっかりと締めつけてください。



② 望遠鏡が転倒しないよう、三脚の開き止めが開き切るまでいっばいに開いてください。



③ 三脚架台にHF2经纬台のハーフピラー部分を合わせます。
※ 三脚に水平支点(ツノ)がある場合にはハーフピラー部分の下部のくぼみを合わせます。



④ 三脚架台の下にある架台固定ボルトを回し、ゆるまないようにしっかりと固定します。

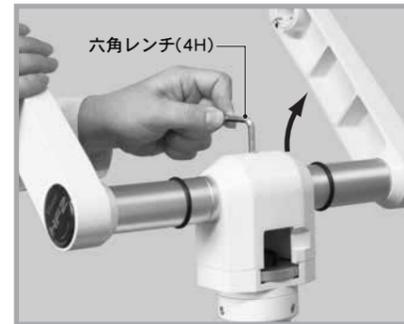
HF2经纬台について

- 本機は、手を離れたところで固定される「フリーストップ式」です。上下動調整ネジ・水平動調整ネジをしめるまたはゆるめることで固さを調整できます。(仕様上、強くしめても完全にロックされません。)
- アームを傾けることができます。本体上部にあるアーム軸固定ネジをゆるめると、アームを前後各45度ずつ傾けることができます。また、収納時には180度下に向けることもできます。

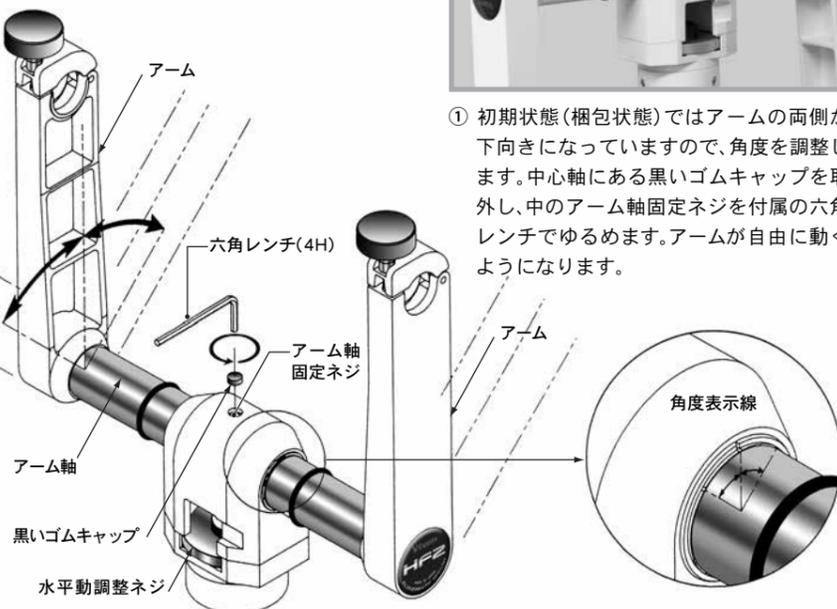
アームの傾け方



① 初期状態(梱包状態)ではアームの両側が下向きになっていますので、角度を調整します。中心軸にある黒いゴムキャップを取外し、中のアーム軸固定ネジを付属の六角レンチでゆるめます。アームが自由に動くようになります。

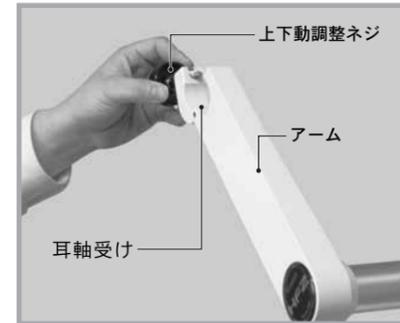


② フォーク架台部分とアーム軸部分に45度間隔の角度表示線(溝)があります。これを参考に角度を決めます。例えば天体メインであれば天頂に向けることもあるため、45度にしておくと便利です。地上観察メインであれば水平～下方向への死角が少なくなる垂直位置が便利です。希望の角度になりましたら、①でゆるめたアーム軸固定ネジをしめます。ゆるまないようにアームを軽く動かしながらネジをしめて行くと途中でネジが溝に引っかかる感触があります。この位置でネジをしっかりと固定してください。最後にゴムキャップを元通りに取付けます。



鏡筒の取付け方

BT126SS-A



① 両側のアームの耳軸受け、上下動調整ネジをゆるめ、開きます。



② BT126SS-A鏡筒(別売)を取付けます。アーム先端の耳軸受けにBT126SS-A鏡筒の耳軸をのせて上下動調整ネジをしめます。

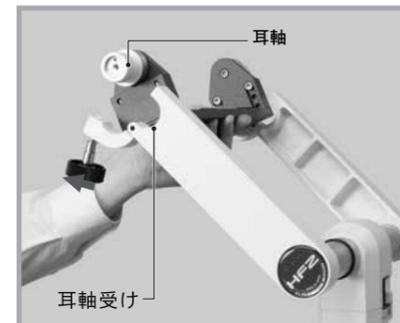


③ 上下動調整ネジはガッチリ固定するのではなく動作した際の摩擦を調整するものとなっています。しめ具合はお好みに合わせてご使用ください。

鏡筒の取付け方

BT81S-A

[BT-ED70S-A鏡筒およびARKシリーズ大型双眼鏡(別売)も同様です。]



① HF汎用プレート(別売)を取付けます。耳軸受けにHF汎用プレートの耳軸をのせて上下動調整ネジをしめます。しめ具合はお好みに合わせてご使用ください。



② BT81S-A鏡筒(別売)の三脚取付台座にある3つの三脚取付ネジ穴の内、1/4サイズの1つを利用します。



③ BT81S-A鏡筒をHF汎用プレートに取付けます。HF汎用プレートのノブネジで固定します。ゆるまないようにしっかりと固定してください。

対空双眼鏡セット仕様

仕様・外観は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

機種名	HF2-BT81S-A	HF2-BT-ED70S-A	HF2-BT126SS-A
対物レンズ形式	81mm/アカロマト	70mm/EDアカロマト	125mm/アカロマト、二枚分離型
コーティング	マゼンタコーティング	マルチコーティング	マルチコーティング
有効径(D)	81mm	70mm	126mm
焦点距離(f)	480mm	400mm	625mm
口径比	1:5.9	1:5.7	1:5
集光力	肉眼134倍	肉眼100倍	肉眼324倍
分解能	1.43秒	1.66秒	0.92秒
極限等級	11.3等星	11.0等星	12.3等星
長さ×幅×高さ	480mm×190mm×155mm	400mm×190mm×155mm	630mm×360mm×200mm
重さ	4.1kg	4.0kg	10.5kg
接眼部	パーツ取付けサイズ 接眼鏡(31.7mm径)※ (倍率) 架台タイプ 上下左右動	差し込み/31.7mm SLV20mm×2個 (20倍、実視界150分) HF2经纬台 上下左右フリーストップ、固さ調整機構付	差し込み/31.7mm SLV20mm×2個 (31倍、実視界97分) HF2经纬台 上下左右フリーストップ、固さ調整機構付
架台部	重さ 約3.4kg	約3.4kg	約3.4kg
三脚部	材質・形式 大型六角形アルミ製二段伸縮式(ワンタッチ式) サイズ:長さ/高さ(地上高) 長さ807mm←→1299mm/高さ(地上高)730mm←→1156mm 設置半径276mm←→424mm/重さ:5.5kg	大型六角形アルミ製二段伸縮式(ワンタッチ式) 長さ807mm←→1299mm/高さ(地上高)730mm←→1156mm 設置半径276mm←→424mm/重さ:5.5kg	大型六角形アルミ製二段伸縮式(ワンタッチ式) 長さ807mm←→1299mm/高さ(地上高)730mm←→1156mm 設置半径276mm←→424mm/重さ:5.5kg
その他	付属品 キャリングハンドル、ファインダー脚台座 総重量 14.1kg(接眼鏡を含まず)	キャリングハンドル、ファインダー脚台座 14.0kg(接眼鏡を含まず)	キャリングハンドル、ファインダー脚台座 19.4kg(接眼鏡を含まず)

※ 31.7mm径の接眼鏡が使用可能です。: SLV、LVWシリーズ接眼鏡(31.7mm) ※ LV8~24mm LVWは使用できません。

Vixen®

対空双眼鏡BT126SS-A鏡筒取扱説明書

この度は『対空双眼鏡BT126SS-A鏡筒』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この説明書は対空双眼鏡BT126SS-A鏡筒の説明書です。ご使用にあたり搭載する三脚、架台などの説明書も併せてお読みください。

※観察には同種の31.7mm径接眼レンズ2本が必要です(別売)。

※架台、三脚とのセットでお買求めの場合は接眼レンズが付属していることがあります。

内容物

仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

BT126SS-A鏡筒本体	1
対空双眼鏡BT126SS-A鏡筒取扱説明書(本書)	1
光学機器保証書1・5年	1



警告

太陽をのぞてはいけません。失明の危険があります。

対空双眼鏡、接眼レンズなどで太陽を絶対にのぞてはいけません。失明の危険があります。

注意

- レンズキャップを外したままで、昼間に製品を放置しないでください。望遠鏡やファインダーなどのレンズにより、火災発生の原因となる場合があります。
- 移動中や歩行中に製品を使用しないでください。衝突や転倒など、ケガの原因となる場合があります。
- キャップ、乾燥剤、包装用ポリ袋などを、お子様が誤って飲みこむことのないようにしてください。

お手入れ・保管について

- ・炎天下の自動車の中やヒーターなど高温の発熱体の前に製品を放置しないでください。
- ・本体を清掃する際に、シンナーなど有機溶剤を使用しないでください。
- ・製品に、雨、水滴、泥、砂などがかからないようにしてください。
- ・レンズにはこりやゴミがついた場合は、市販のカメラ用ブローアなどで吹き飛ばしてください。
- ・レンズ表面は手で触れないようにしてください。指紋などでレンズが汚れた場合は、カメラレンズと同様な手順で清掃します。(カメラ用ブローア等でホコリを吹き飛ばし、市販のレンズクリーニングペーパーを使い、軽く拭きとってください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。)
- ・保管する際は直射日光を避け、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。

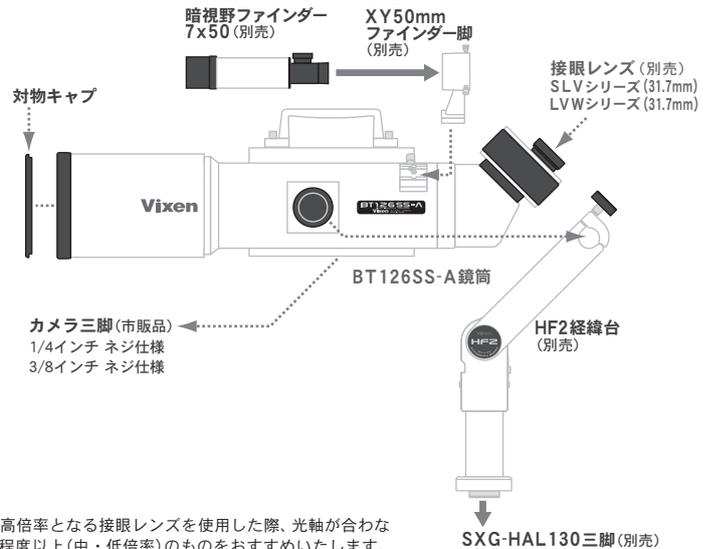
鏡筒の仕様

仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

対物レンズ・有効径	126mm・アクロマート・マルチコーティング
焦点距離(口径比F)	625mm(F5)
分解能・極限等級	0.92秒・12.3等星
集光力	肉眼の324倍
パーツ取付サイズ	差し込み/31.7mm(スリワリ式)
接眼レンズ	31.7mmSLVシリーズ(別売)(LV8-24mmを除く) 31.7mmLVWシリーズ(別売)
眼福	58~102mm
ファインダー	50mm用XYファインダー脚(L)(別売) 暗視野ファインダー7倍50mm(別売)
取付ネジ穴	1/4インチ×2、3/8インチ×1
サイズ・重さ	長さ630×幅360×高さ200mm 約10.5kg
別売オプション	HF2経緯台、SXG-HAL130三脚、 接眼レンズ(31.7mm)

システム例

仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。



※注意：高倍率接眼レンズをご使用になる場合

「BT126SS-A 鏡筒」は接眼レンズを差し換えることによって倍率を変更できますが、構造上、高倍率となる接眼レンズを使用した際、光軸が合わないケースがございます。ご注意ください。ご使用になる接眼レンズには、焦点距離 10mm 程度以上(中・低倍率)のものをおすすめいたします。

各部名称



ご使用方法

- ①カメラ三脚(市販の耐荷重11kg以上の三脚を推奨)に取付けてご使用いただけます。鏡筒の底部にあるアタッチメントレール(スライドバー)に三脚を取付けるネジ穴があります。ゆるまないようにしっかり固定してください。三脚のご使用方法につきましては三脚の取扱説明書をお読みください。



- ②接眼レンズ(別売)を取付けます。スリワリ式ですので接眼レンズのスリーブを差し込むだけで固定されます。また、引き抜くだけで取り外せます。

※接眼レンズを交換する時は、次項“光軸の調整”を参考に左右の接眼レンズの光軸調整を行ってください。



- ③右側の接眼レンズをのぞき、焦点調整リングを回しながら右目の焦点を合わせます。その後、同様にして左側の接眼レンズをのぞき、焦点調整リングを回しながら左目の焦点を合わせます。



- ④眼幅を調整します。左右の接眼部を両手に持って折り曲げるようにしながら、左右の目の間隔に合わせます。左右の目で見える視野円が一つに重なった時の幅が正しい眼幅です。



光軸の調整

本機の性質上、接眼レンズを取付けただけでは光軸が合わないことがあります。この場合、次の手順で光軸を合わせてご使用ください。

○調整方法

- ①最初に左側の接眼レンズで、1000m以上遠くの目標物を水平線上(視野を左右に横切る中心線上)で視野右端ギリギリに寄せてみてください。ここでは目標物として電柱の先端でご説明いたします。

片方に寄せるのは、視野円との間隔を確認することで位置関係を確認しやすくなるからです。

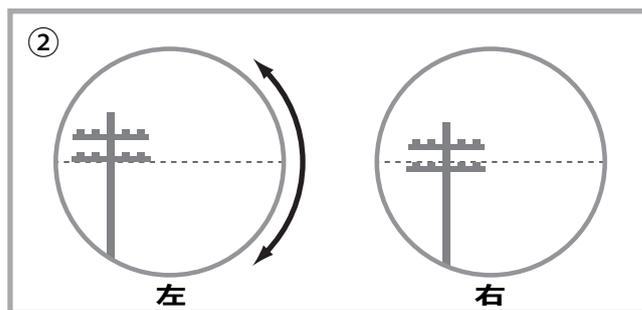
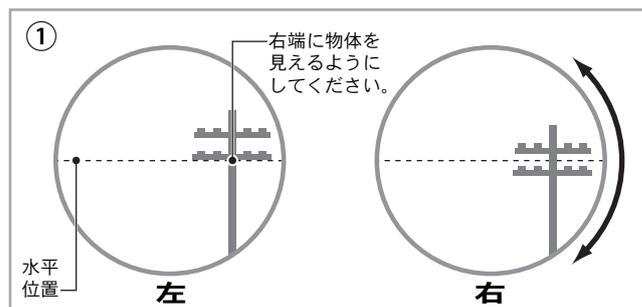
この時、右側の接眼レンズ視野にも同じ水平線上の右端ギリギリに目標物(電柱の先端)が見えるはずですが。

位置がずれている場合は光軸が合っていないので、調整します。この場合、左側はそのまま保ち、右側の接眼レンズをゆっくり回し、左側の像と同じ位置になるまで調整します。

- ②上記①で合わせることができない場合は、右側の接眼レンズをそのまま保ち、左側の接眼レンズを回して同様の調整を行ってください。

○観察のコツ

倍率が低いほうが鮮明に見えます。数種類の接眼レンズを使用する場合は、最低倍率の接眼レンズからご使用ください。その後、目的に合わせて徐々に倍率の高い接眼レンズと交換します。



製品についてのお問い合わせ

弊社ホームページ(下記URL参照)のお問い合わせメールフォーム、またはお電話にて受け付けております。

カスタマーサポートセンター 電話番号: 04-2969-0222(カスタマーサポートセンター専用番号)
受付時間: 9:00~12:00、13:00~17:30(土・日・祝日、夏季休業・年末年始休業・休業日を除く)

株式会社 **ビクセン**

〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
【代表】TEL: 04-2944-4000 FAX: 04-2944-4045
【ホームページ】http://www.vixen.co.jp